

■科目の基本情報

| | |
|---------|-----------------------|
| ・科目番号 | 01EG121・122 |
| ・授業科目名 | 感性認知脳科学実習1・2 |
| ・授業形態 | 5(講義と実習・実験) |
| ・標準履修年次 | 1・2年次 |
| ・開設学期 | 春C |
| ・曜時限等 | 7月の連続した2日間、詳細は追って連絡する |
| ・教室 | 追って連絡する |
| ・単位数 | 各1 |

■担当教員等

| | |
|-------------------|---|
| ・担当教員名 | 山中敏正、松本正幸 |
| ・ティーチングフェロー(TF) | N/A |
| ・ティーチングアシスタント(TA) | N/A |
| ・オフィスアワー等(連絡先含む) | 山中敏正 木曜14時-15時、火曜15時-16時 松本正幸 総合研究棟D516室 平日9:00~17:00 Tel:6012 |

■受講によって得られる知識・能力等

・教育目標との関連

人間の感性や心と脳機能とを関連づけようとする基礎研究は極めて学際性の高い研究領域である。自身の研究発表だけでなく、周辺領域の基礎研究を理解し、実践的応用について学ぶことは必要不可欠であり、本専攻の教育目標と合致する。

・授業の到達目標 (Aim of Course)

自身の専門領域の周辺領域の基礎研究を理解し、実践的応用についての知識を習得する。

■授業内容等

・授業概要 (Course Description)

学生、教員が参加し、領域を横断して行う研究発表やブレインストーミングを通して感性認知脳科学の各専門分野での基礎研究を理解するとともに、実践的応用について学ぶ。「研究者倫理特別セミナー」を同時開催する。

・キーワード

感性情報学、感性デザイン学、感性人間工学、比較認知科学、行動神経科学、精神機能障害学、システム脳科学、神経分子機能学、脳型情報処理機構学

・授業計画 (Time Table)

2日間にわたっておこなう。1日目に自身の研究発表とdiscussionをおこない、2日目に感性認知脳科学およびその周辺領域に関連したブレインストーミング等を通して各分野での基礎研究を理解する。

・履修条件 (Prerequisite)

自身の研究発表やdiscussion、関連分野のブレインストーミングに意欲的に取り組めること。

■ 成績評価方法

・評価方法

自身の研究発表の内容、discussionやブレインストーミング等における発言内容。

・割合

自身の研究発表の内容、discussionやブレインストーミング等における発言内容を総合的に評価する。

・評価基準

他分野の教員が学生に自身の研究内容を説明できるのか、他分野の研究を理解してdiscussionで自身の意見を述べることができるのか。

■ 受講するにあたって

・教材・参考文献、配布資料等(Reading Materials)

事前に資料を配布する。

・授業外における学習方法

自身の研究発表の準備。

・受講生に望むこと(Recommended Background)

積極的にdiscussionに参加すること。

・欠席の場合の措置について

特に無し。

・備考